

議 事 録

会議の名称	令和6年度第1回茨木市立文化財資料館運営審議会
開催日時	令和6年5月15日（水） （午前・ <u>午後</u> ） 6 時 0 0 分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 7 時 2 0 分 閉会
開催場所	文化財資料館 2 階 研修室
出席者	委員長：若林 邦彦（同志社大学歴史資料館教授） 副委員長：辻尾 榮市（地域歴史民俗考古研究所所長） 委員：池田 直子（吹田市立博物館学芸員） 岩田 朋子（茨木市立東奈良小学校校長） 岡市 正達（茨木神社禰宜） 難波 洋三（奈良文化財研究所客員研究員） 松岡 久美子（近畿大学文芸学部教授） 松村 薫（茨木市教育研究会小学校社会科部副部長） 吉田 佳世（追手門学院大学地域創造学部准教授） 吉村 健（大阪府立茨木高等学校教諭） （順不同・敬称略） 【計 10 人】
事務局職員	岡田 祐一 教育長、辻田 新一 教育総務部長、 木下 典子 歴史文化財課長、 前田 聡志 参事兼調査管理係長、 黒須 靖之 保護啓発係長兼文化財資料館長、高橋 伸拓 主査 【計 6 人】
開催形態	<u>公開</u> / 非公開
議題（案件）	[1]委員長・副委員長の選出について [2]令和5年度文化財資料館等事業報告について [3]令和6年度文化財資料館等事業計画について
配布資料	令和6年度 第1回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	【開会】
教育長	【開会挨拶】
事務局	【会議の成立】 全委員 10 人中 8 人出席（最終は 10 人出席）につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。
事務局	【委員の紹介】 令和 6 年 5 月 1 日付けで新たに委嘱された 10 名の委員の紹介。 【事務局の紹介】 事務局職員の紹介。
	《案件 1 委員長・副委員長の選出》
事務局	【委員長及び副委員長の選出】 茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 3 条第 1 項「審議会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選とする」により、互選による選出を説明。
辻尾委員	委員長は、若林委員にお願いしたい。 (異議なしの声) —他委員の賛同を得て、委員長は若林邦彦委員に決定—
	【副委員長の選出】
吉村委員	副委員長について辻尾委員にお願いしたい。 (異議なしの声) —他委員の賛同を得て、副委員長は辻尾榮市委員に決定—
	【議事の進行の交代】

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
若林委員長	議事の進行を事務局から若林委員長に交代 【審議の公開について】 審議会及び会議録の公開・非公開について諮りたいと思います。公開についての説明を事務局からお願いします。
事務局	「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開の旨を説明。資料の閲覧、持ち帰りも審議会の判断で可能であること、会議録についても公表に努めている旨を説明。
若林委員長	審議会については原則に則り公開とし、非公開とすべき案件が発生したときは皆様にお諮りし、非公開を決定します。会議録についても公開とし、資料についても傍聴者への閲覧及び持ち帰りを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。 (異議なしの声)
若林委員長	本審議会は公開とし、資料の閲覧及び持ち帰りも許可することといたします。傍聴人がいらっしゃるか確認してください。
事務局	いらっしゃいません。
	《案件 2 令和 5 年度文化財資料館等事業報告について》
若林委員長	では次第に従い、報告事項の「令和 5 年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。
事務局	令和 5 年度文化財資料館等事業報告資料をもとに説明。
若林委員長	ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願いいたします。
難波委員	昨年度末学芸員 2 人が転出されているが、その後の補充はどうなっているのか。すでに補充されているのか。
事務局	昨年度の 2 月末日と 3 月に転出を知ったため、令和 6 年 4 月 1 日の採用は難しく、令和 7 年 4 月 1 日の採用に向けて動いている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
難波委員	これまで積極的に活動してこられ、館報、図録が充実しており、体力を落とすことなく持続的に取り組んでももらいたい。
若林委員長	学芸員の数に戻すか、それ以上の体制を構築してもらいたい。
岡市委員	古文書教室を初級編・中級編に分けているのは素晴らしい取り組みで、今後も古文書に限らず、教育普及活動を積極的に展開してもらいたい。
事務局	古文書教室の受講者も徐々に増えてきており、初級編・中級編という体制は継続していきたい。
若林委員長	古文書教室の中級編によって、地域の古文書の掘り起こしをする人材の育成につながっているのではないかと。今後どのような展開を考えておられるのか。
事務局	現時点では受講者に古文書解読能力を身に付けてもらうところに力を入れており、受講者の古文書解読能力の習熟度を踏まえて、事業を展開していきたいと考えている。
難波委員	古文書がネットオークションで売買されて散逸する事例が増えている。古文書の解読能力を身に付けた人材を育てることで、地元の古文書の散逸を防ぐ効果があるのではないかと。そういう人材を活用して啓蒙活動を行う体制ができればよいのではないかと。
事務局	古文書の所蔵者で古文書教室に参加されている方もおられ、古文書に関心に向けてもらっている。古文書教室の受講者による郷土史料室の利用という相乗効果を狙っている。古書店等に流出した古文書は購入するように努めている。
池田委員	古文書教室の受講者は毎年同じ方がいるのか。ある程度解読できる方も初級編を受講されるということはないのか。修了証を出しているのか。
事務局	継続して受講されている方や新規で受講される方がいる。初級編・中級編の両方を受講される方もいるが、継続して受講し、ある程度解読能力を身に付けると中級編のみを受講されている。現在のところ修了証を発行するという対応はしていない。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
松岡委員	歴史資料管理システム等のデータベースへの登録を進めておられるが、データの活用状況を教えてほしい。
事務局	データベースは歴史資料管理システムと館蔵資料データベースがあり、前者は目録を検索してデジタルデータで古文書を閲覧される方がいる。後者は内部での利用になるが、資料を探しやすくなり、展示に活かせるようになった。
松岡委員	古文書以外のデータは郷土史料室で閲覧することができるのか。または内部での活用か。公開の予定はあるのか。
事務局	古文書以外のデータは閲覧できず、内部での活用となっている。現在のところ公開の予定はない。
松岡委員	データベースは作るだけでなく、ある程度情報量が蓄積されたところで、活用方法を考えていてもらいたい。
若林委員長	文化庁はデータベースの公開を推進しており、勤務先の博物館では収蔵品のタイトルだけを載せたテキストデータを公開している。今後検討してもらいたい。
	《案件 3 令和 6 年度文化財資料館等事業計画について》
若林委員長	引きつづきまして、報告事項の「令和 6 年度文化財資料館等事業計画について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	令和 6 年度文化財資料館事業計画資料をもとに説明。
若林委員長	ありがとうございます。ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をお願いします。
難波委員	テーマ展は藤原鎌足を取り上げられるが、阿武山古墳の資料は使われるのか。リアリティがあるものを加えてもらいたい。
事務局	大阪大学総合学術博物館所蔵の阿武山古墳の埴や、高槻市立今城塚古代

議 事 の 経 過

発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
若林委員長	歴史館所蔵の冠帽の復元品、関連する資料として、東奈良遺跡や初田 1 号墳の埴を展示する予定である。
事務局	テーマ展については高槻市からも資料を多く借用する予定であるのか。
事務局	高槻市からは上記の資料を借用し、本市に伝わる資料を中心に池田市立歴史民俗資料館、大阪大学総合学術博物館、奈良国立博物館等から関連資料を借用し、本市における大織冠信仰の様相を紹介する展示にしたいと考えている。
吉村委員	毎年、茨木高校による団体見学を 12 月に実施している。団体見学はテーマ展終了後になると思うが、終了後も展示を残していただくことはできるか、検討していただきたい。
事務局	テーマ展については、各所から借用する資料が多いため、返却の関係で展示をそのまま残すことは難しい状況である。見ていただけるものは見学していただければと思う。
吉村委員	可能な範囲で構わない。あくまでも希望である。
松岡委員	展示機能の拡充で大型ハイケースの導入があげられているが、具体的にはどのようなサイズのものを考えているのか教えてもらいたい。例えば、立体物をどこまで入れることができるのか。今後、美術工芸品を展示にどの程度取り込んでいくのか、かなり関わってくるものと思う。そのため、どのような計画であるのかを聞かせてほしい。
事務局	ハイケースは 1 台で、サイズは幅が 2700mm・高さが 2700mm、奥行が 1200mm で、内寸は幅が 2540mm、高さが 2010mm、奥行が 860mm である。設置場所は 1 階展示室のエリア 3 のウォールケース間の壁面に設置する予定である。
松岡委員	このサイズになると、展示可能なのは等身の立像、半丈六の坐像までと思われ、それ以上の大きさや動勢を示す像の展示は難しい。現在想定している最大の展示物は何であるのか。
事務局	東京国立博物館や神戸市立博物館の所蔵資料、これから本市で指定していく文化財等の展示を考えているが、あまり大きい仏像を展示することは想定していない。今年度のテーマ展では、ハイケースで、談山神社所蔵・

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	奈良国立博物館寄託の多武峰縁起絵巻を展示する予定である。
難波委員	ハイケースの免震関係はどのようになっているのか。アンカーで床に固定するのか。免震台はどうするのか。
事務局	免震台は導入する予定はない。キャスター付きで可動式であるが、相当の重量物であるため、簡単に動かすことができず、ほぼ固定されたような状態になる。
難波委員	絵画類であれば照明の問題があるが、どのような照明を入れる予定であるのか。
事務局	照明は LED で、上下から照らすことができるもので、仏像の展示も想定したものである。
松岡委員	ハイケースにピクチャーレールは取り付けられているのか。
事務局	その通りである。
松岡委員	国の指定文化財を借用する場合など公開承認施設でなければ、環境調査をした上でなければ借用できないことがある。このあたりを見越して計画していただければと思う。
岡市委員	学校教育に関わって、昔のくらし学習における団体見学等は大事な事業であると思う。小学生が実際の資料に触れる貴重な機会であり、継続して取り組んでもらいたい。
事務局	小学校３年生の団体見学については、積極的に当館を使ってもらえるように周知していき、引き続き来館してもらえるように実施していきたいと考えている。
若林委員長	年度途中で周知しているのか。
事務局	年度初めの校長会で年度計画を示し、11月に各学校にチラシ等を配布し、各学校３年生の担任と調整して実施している。東奈良小学校は各学年に利用してもらっている。

議 事 の 経 過

発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
岩田委員	6年生は地域の歴史を知る取り組みとして、文化財資料館を利用している。教師もフィールドワークをして、地域の歴史を知った上で、授業を組み立てていくということをしていきたいと考えている。
事務局	東奈良小学校との連携は昨年度と同様の活動を計画して進めていきたいと考えている。
吉田委員	大学生の地域学習は具体的にはどのようなことを行っているのか教えてほしい。
事務局	郷土史料室で保管している古文書を閲覧してもらい、古文書について解説をし、あわせて1階展示室の展示解説を行った。
池田委員	学芸員の人数が減っているが、業務の分担等はどのようなになっているのか。
事務局	欠員を補充して、開館できる体制は構築している。業務については、優先順位を決めつつ、計画で示した内容を分担して実施するように取り組んでいきたい。
若林委員長	今年度の企画展等についてはすでに計画されていたものと思うが、次年度のことを考える余裕がないものと思われるので、人員の補充が大事であると感じる。
難波委員	埋蔵文化財担当の職員の助力を得ることになるのではないかな。
事務局	今年度は文化財資料館が開館40周年であり、歴史文化財課として取り組んでいくという視点を持って、乗り越えていきたいと考えている。
若林委員長	ほかにご意見、ご質問はございませんか。 今年度の事業計画につきましては、基本的には事務局提案のとおり進めていただき、次年度の審議会で報告を受け、審議するということがよろしいでしょうか。 （異議なしの声）
若林委員長	以上で、本日の案件はすべて終了しました。いろいろなご意見ありがと

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	うございました。 それでは、これもちまして、令和6年度第1回茨木市立文化財資料館運営審議会を閉会いたします。 長時間にわたり、ありがとうございました。 以上